

各 位

長崎大学大学院工学研究科長
清水 康博（公印省略）

「創成プロジェクト」最終成果発表会の開催について

工学系技術者には、高い技術力とともに、自ら課題を見出して解決のためのアイデアを発想、具現化する能力が強く求められています。長崎大学工学部は、理論等の習得を目的とした座学中心の従来型の教育だけではなく、学生主体のものづくり実践を通して、学生のエンジニアリングデザイン能力や創造力の向上を目指す教育を実施し、これからの工学・工業界を牽引する人材の育成に取り組んでいます。

「創成プロジェクト」は、その取り組みの核となる科目であり、受講者は、チームを組んで、地元企業・自治体等から提案されたテーマで製品の開発や地域社会・環境に関する問題の解決、または、自ら提案したテーマで問題解決に取り組み、その成果をコンテスト形式で競い合います。今年度も工学部学生および工学研究科学生がその取り組みに参加し、成果を発表する運びとなりました。

つきましては、ご関係の皆様のご協力・ご支援の下に実施された「創成プロジェクト」の成果を発表する公開報告会「創成プロジェクト」最終成果発表会を下記の要領で開催致しますので、皆様におかれましては大変ご多忙のことと存じますが、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日時：平成 29 年 11 月 11 日（土）13：00～16：10（受付 12：30～ 於：2 階多目的ホール）
2. 場所：長崎大学文教キャンパス総合教育研究棟（2 階多目的ホール・1 階ホール）
3. プログラム
 - (1) 開会式（於：2 階多目的ホール） 13：00～13：05
司 会：石塚 洋一（工学研究科工学教育支援副センター長）
開会の辞：高瀬 徹（工学研究科工学教育支援副センター長）
 - (2) 成果発表
 - 出展作品・プロジェクト成果の概要説明（於：2 階多目的ホール） 13：05～14：10
（発表時間 各 5 分）
 - ① 小学 1 年生～6 年生の理科・さんすう教育のための新しいサイエンスマジックの開発
 - ② 医療機器に触れて 3D プリンターを使って未来の医療機器を開発してみよう
 - ③ 超小型 電動モビリティの開発 A
 - ④ 2 次離島向け小型電動モビリティの開発 B
 - ⑤ 災害教訓に関する調査と情報発信（LINE で伝える、諫早大水害）
 - ⑥ 正浸透技術を用いた発電の研究
 - ⑦ 超強力シュレッダー「バリバリ君」2 号の設計・制作
 - ⑧ LINE ドアホンの開発
 - ⑨ ポータブル型 Moving Cloud Server 開発プロジェクト
 - ⑩ コスパ最強！ポータブル人数カウンター

（休憩 10 分） (14：10～14：20)

 - ポスターセッション（於：1 階ホール） 14：20～15：30
※15:20 までに投票締切

（休憩 10 分） (15：30～15：40)

 - コメント等（於：2 階多目的ホール） 15：40～16：00
 - (3) 閉会式（於：2 階多目的ホール） 16：00～16：10
講評・結果発表及び表彰：中村 聖三（工学研究科工学教育支援センター長）
閉会の辞：中村 聖三（工学研究科工学教育支援センター長）

<問合せ先> 長崎大学工学部総務班 山口 未央 TEL：095-819-2489
FAX：095-819-2488 E-Mail：m-yamaguchi@nagasaki-u.ac.jp